
VOLTIA

ヒルトウス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

VOLTIA

【Nコード】

N8542U

【作者名】

ヒルトウス

【あらすじ】

ヴォルティアは、神々の国ガドワールドで最強の戦士であった。今、他の種族や神々との、壮絶な戦いが始まる。これは作者オリジナルの神話で、実際にこのような神話が古くからあったわけではありません。

雷の戦士（前書き）

さあ新たななる神話の始まりです。面白くないかもしれませんが、魂を込めて描きたいと思います。

それでは”VOLTTIA”、お楽しみください。

雷の戦士

彼はヴォルティア。

神々の王国ガドワールドで最強の戦士だ。雷の神フアラライズの子であり、雷と勇気の神であった。彼は一年に一度はどこかの国を制覇してガドワールドに帰ってくる。

彼の力の源はなんなのか、それを科学の神サイアーンや計算の神アカントが調べようとしたが、わからなかった。それほどまでに強大な力を持っていたのだ。

サイアーンは、アルベルト・アインシュタインと血が繋がっていた。だからアインシュタインは、あそこまで物理学に没頭し、ついに大きな発見までしたのだ。

アカントは、かの有名なブレーズ・パスカルと血が繋がっていた。だからパスカルも、あんなふうに数学にハマったりしたのである。

その日、ヴォルティアは、神々のガドワールドから離れ、星の住む国ストラウワールドへと飛んでいた。その雷の力は、小惑星をも木端微塵に砕くほど強力で、星々もヴォルティアの到着を今か今かと待っていた。

そしてヴォルティアがストラウワールドへと到着した。ストラウワールドの王、ガームonzはヴォルティアと固く握手をして、宮殿へと招き入れた。

『ヴォルティアの到着は、ストラウワールドの勝利を示している』

と、ガームonzは何度も言った。実はストラウワールドは、植物の国グリーンワールドと戦争をしていたのだ。神々や人間、怪物、動物にとっては、植物も星もなくてはならないし、植物も星が必要なのだが、星はストラウワールドにおける”庭園”と呼ばれる事件（スト

ラウオールドに植物が生えた事件）をグリーンオールドからの攻撃とみなし、戦いを始めたのである。

ヴォルティアは戦術に長けていながらも、ファラライズとは違って、すべては力で解決できるものではないと信じていた。神々の王、レジアスもそのような考えの持ち主であったからである。

よってファラライズ勢力とレジアス勢力はいがみ合っただけで、た。

ガドオールドと怪物の国モンスオールドが戦争を始めようとしていたころ、レジアスは言った。

「モンスオールドの勢力がもしすぐにガドオールドを襲った場合は、戦だ。しかし、すぐに襲ってこなければ、話し合いで解決する道もあるということだ」

しかし、ファラライズは反論した。

「貴様は何もわかつちやいない！ もうこうなったら戦争だろうが！ 力に勝るものはない！」

ここでレジアスは制した。

「兄上、座ってくれ」

その言い方にムカツと来たのか、ファラライズは槍を出現させてレジアスに突きつけた。

「ケンカ売ってるのか？ 俺は売られたケンカは買うぞ」

レジアスはため息をついて、自身の武器を出現させた。大きな棍棒だ。

「狩猟と格闘の神レジアスに勝てると思っているのか？」

それを聞くなり、ファラライズは、

「ああ、勝てるさ。お前なんか吹っ飛ばしてやる」

ここでレジアス派とファラライズ派がケンカを始め、後にいがみ合うようになってしまったのである。

ともかくヴォルティアはレジアス派だった。ガームンズに、まず話し合え、と助言をし、ヴォルティアはガドオールドへ帰った。

その後、ストラウワールドとグリーンワールドは話し合わずに戦い続けたが、最終的には、和解した。

雷の戦士（後書き）

面白かったですでしょうか。

これから始まる様々なエピソードも、今回は投げ出さずに取り組みたいと思っております。よろしくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8542u/>

VOLTIA

2011年7月24日22時31分発行